

令和2年度農村振興関係交付金評価委員会の議事概要

○第1回評価委員会

1. 日 時: 令和2年8月4日(火)10:20~10:50
2. 場 所: 社会福祉法人わたむきの里福祉会会議室
3. 出席者:
 - ・評価委員会委員
小田滋晃 公益財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター 京都大学名誉教授
加藤恵里 滋賀県立大学環境科学部生物資源管理学科講師
 - ・評価委員会事務局
近畿農政局担当者3名
4. 議事要旨
 - 1) 令和元年度近畿農政局農村振興関係交付金の評価について
令和元年度近畿農政局農村振興関係交付金評価対象地域、評価基準等を確認。
 - 2) 委員長の選任
評価委員会設置規程第5条に基づき、委員の互選の結果、委員長に小田委員が選任された。
 - 3) 今後の予定について
第2回評価委員会(現地調査)、第3回評価委員会(意見聴取)を行い、その後、評価の概要等をホームページにて公開することを確認。

○第2回評価委員会(現地調査)

1. 社会福祉法人わたむきの里福祉会(滋賀県日野町)
 - 1) 日 時: 令和2年8月4日(火)10:50~11:50
 - 2) 場 所: 社会福祉法人わたむきの里福祉会会議室及び第4作業所
 - 3) 出席者:
 - ・評価委員会委員
小田滋晃 公益財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター 京都大学名誉教授
加藤恵里 滋賀県立大学環境科学部生物資源管理学科講師
 - ・事業実施主体
社会福祉法人わたむきの里福祉会 担当者(事務局)
 - ・評価委員会事務局
近畿農政局担当者3名
 - 4) 委員の主な意見
 - ・高齢化等で集落営農の存続が困難になりつつある本地域で、町役場と連携した地域農業の存続に向けた取組は大変評価出来る。
 - ・本法人が農業のみならず、地域振興全般において果たす役割が大きいことが分かり評価できる。など

2. びわ湖の素米原古民家暮らし協議会(滋賀県米原市)

1) 日 時: 令和2年8月4日(火)14:00~15:00

2) 場 所: 古民家「そよも」

3) 出席者:

・評価委員会委員

小田滋晃 公益財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター 京都大学名誉教授

加藤恵里 滋賀県立大学環境科学部生物資源管理学科講師

・事業実施主体

びわ湖の素米原古民家暮らし協議会 担当者(事務局等)

・評価委員会事務局

近畿農政局担当者3名

4) 委員の主な意見

・本施設での滞在・宿泊を通じて、本地域の住みやすさに触れた方が増え、移住に繋がることが望ましい。

・コロナの影響のため、開業の遅延やイベントが開催出来ない状況なので、事業評価にあたっては、現状に見合った評価が必要。など

○第3回評価委員会

※コロナウイルス感染防止対策のため、持ち回り形式により委員会を開催。

1. 日時、場所、出席者

①. 日 時: 令和2年8月31日(月)13:30~15:00

②. 場 所: 滋賀県立大学研究室

③. 出席者:

・評価委員会委員

加藤恵里 滋賀県立大学環境科学部生物資源管理学科講師

・評価委員会事務局

近畿農政局担当者3名

①. 日 時: 令和2年9月2日(水)10:20~12:10

②. 場 所: 神戸地方合同庁舎会議室

③. 出席者:

・評価委員会委員

伊原和彦 ETC教育旅行コンサルタント代表

・評価委員会事務局

近畿農政局担当者4名

- ①. 日 時: 令和2年9月10日(木)13:30~15:00
- ②. 場 所: 公益財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター会議室
- ③. 出席者:
 - ・評価委員会委員
小田滋晃 公益財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター 京都大学名誉教授
 - ・評価委員会事務局
近畿農政局担当者3名

2. 議事要旨

1) 第2回評価委員会(現地調査)の概要について

- ・第2回評価委員会(現地調査)の概要について確認。

2) 令和元年度農山漁村振興交付金の評価について

- ・都市農村共生対流及び地域活性化対策、地域活性化対策、農泊推進対策及び農福連携対策に係る評価結果について意見聴取

3) 低調と評価された団体への助言・指導について

- ・昨年度に低調と評価された地域に対する重点指導の結果報告

4) 評価委員からの意見

○都市農村共生・対流及び地域活性化対策(平成28年度、29年度採択)

- ・【活動計画策定】の5地域について、「優良」(A)又は「良好」(B)とする評価は妥当である。
- ・【農山漁村における農林水産物の販売・加工】の1地域について、「良好」(B)とする評価は妥当である。
- ・農福連携対策の6地域について、「優良」(A)又は「良好」(B)とする評価は妥当である。

○地域活性化対策(平成30年度、令和元年度採択)

- ・地域活性化対策の5地域のうち3地域について、「優良」(A)又は「良好」(B)とする評価は妥当である。
- 残る2地域については、「移住者数」等の目標が達成されておらず低調であるため、「低調」(C)とする評価は妥当である。
- ・「低調」(C)と評価された2地域は、移住者数等の目標達成に向けて、地元の本当のニーズの把握をすることが必要である。

○農泊推進対策(平成29年度採択)

- ・農泊推進対策の5地域のうち3地域について、「優良(A)」又は「良好(B)」とする評価は妥当である。
- 残る2地域については、「売上金額」等の目標が達成されておらず低調であるため、「低調(C)」とする評価は妥当である。

・2年連続で「低調」(C)と評価された2地域に対しては、国庫交付金を活用して事業を実施している事も念頭に、責任を持って事業を実施するようしっかり指導をお願いしたい。

○農泊推進対策(平成30年度、令和元年度採択)

・農泊推進対策の31地域のうち29地域について、「優良(A)」又は「良好(B)」とする評価は妥当である。

残る2地域については、「売上金額」等の目標が達成されておらず低調であるため、「低調(C)」とする評価は妥当である。

・「低調」(C)と評価された2地域は、地元でしっかり話し合いを行い、マーケティングの実施と販路拡大を推進することが必要である。

○農福連携対策(平成30年度、令和元年度採択)

・農福連携対策の4地域について、「優良(A)」とする評価は妥当である。

○共通

・今後、総合的評価が「低調」(C)の地域に対しては、必要に応じて取組内容等を見直すなど、効果的かつ効率的、継続的な取組となるよう指導を実施されたい。

5)今後の予定について

・委員長から近畿農政局長に対して本日決定した評価内容の報告を行い、その後、農政局から本省へ報告するとともに評価の概要等をホームページにて公開することを確認。また、評価が低調な事業実施主体に対しては、重点的指導を実施することを確認。